

杉並区教育委員会 委員各位  
杉並区議会文教委員会 委員各位  
杉並区議会 議員各位

## 和田中学校のサピックス夜間塾問題に関する意見書

提出者：  
連絡先：

私たちは、和田中学校の「夜間塾」開設に以下の理由で反対いたします。

### 1. 教育の機会均等に反します。

この「夜間塾」は希望者が誰でも参加できるわけではなく、試験があります。しかも藤原校長は「学校の授業についていけない子にはむしろ負担になる。無理に参加しないで」(12・9 朝日新聞)と発言しており、一定の成績以下の子どもはあらかじめ排除されています。月謝が払えない家庭の子どもも参加できません。

また、教員が一企業と選ばれた一部の子どものための教材開発に関与するのは、「全体の奉仕者」として不適切であり、しかも多忙化に拍車がかかることでますます子ども達に眼を向ける余裕が無くなります。

### 2. 公立学校の公共性、非営利性に反します。

一企業と一部の子どものために学校の施設を使い、低料金で使用の便宜を図るのは、公立学校の公共性に違反します。また、「塾側にはほとんど利益がない」(1.10 朝日新聞)と和田中は主張しますが、「夜間塾」では通常の月謝に含まれる施設費や教材費が不要な上に、帰宅時の安全確保も保護者が肩代わりします。授業料の金額だけで比較すれば通常料金と大差ありません。しかも区立和田中学校を通じての募集で生徒集めに経費が掛からないことやこの間の報道等による宣伝効果を考えれば、サピックスは採算以上の利益を得ているはずです。

### 3. 子ども同士、親同士、子どもと教員の人間関係を壊します。

「落ちこぼれ」と「吹きこぼれ」、月謝が払える子と払えない子、選ばれた子と排除された子の格差や差別を顕在化させ、子ども同士の人間関係を壊してしまいます。当然、親同士の関係にも影響するでしょう。また、本来は幅広い人間形成を目指す場所であるべき学校に塾を持ち込むということは、学校自らが「受験至上」の価値観を認めることを意味します。その結果、子ども達は単純に「点を取らせてくれる」かどうかで教師を評価するようになり、子どもと教員の信頼関係が崩れてしまいます。「夜間塾」は、学校に競争と格差と人間不信をもたらし、子ども達が安心できる居場所を無くすものです。

### 4. 地域を壊します。

松ノ木町会長、松島四郎氏は、「義務教育の責任者が『客寄せ』のようなこと

をする」のは、「地域(学区)の中で日々教育支援を続けている町会や父母達の気持ちを無視した反地域的な手法だ」(1.11 東京新聞投稿)と批判しておられます。「自分さえ良ければそれでよい」和田中のやり方は、地域間の連携や共生など一切考えておらず、まさに地域を壊す、反地域的なものだといわざるを得ません。

## **5 . 公教育そのものを壊します。**

「夜間塾」の開催は教育委員会、文教委員会などでも一切審議されず、事後報告のみでした。藤原校長の後任も校長自らが指名し、すでに公表までされています。「地域の自主的取組み」を口実に教育委員会や議会をまったく無視した独断専行的な手法は、公教育のルールや民主主義のルールに反しています。それが、杉並の公教育破壊につながることを私たちは恐れます。教育委員及び議員の皆様が、すべての子どもの幸せを視野に入れ、断固として公教育を守るという立場からご発言下さることを切に希望します。